



# みちのく水辺の楽校だより

2018年8月号



この「里山地区」には、薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡も残っています。

みちのく公園ではこの「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然のかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

## 9月2日（日）曇り オオハンゴウソウの刈り取りと草木染め

びっきの広場の草地に、オオハンゴウソウが繁茂しています。オオハンゴウソウは環境省指定の特定外来生物。在来植物の生態系に影響を及ぼす恐れがあるため、駆除しなくてはなりません！

今日は、水辺の管理として、オオハンゴウソウを刈り取って、それを使った草木染めをしました。

### オオハンゴウソウの刈り取り

夏の終わりから秋の初めに、いろいろなところで、黄色い背の高い花を見ることがあります。これがオオハンゴウソウです。

北米原産で、日本には明治中期に観賞用として入ったものが、野生化して各地に広がっています。特に北日本や中部日本の高地で広く繁殖が確認されています。

里山地区でもけっこう見かけます。

単純に刈り取るだけでは根絶は難しく、スコップなどで根ごと引き抜き、抜き取った根は焼却処分する必要があります。

カマ、スコップ、ハサミ等を使い、刈り取りました。どの親子も夢中になって頑張っていました。



### オオハンゴウソウの草木染

刈り取ったオオハンゴウソウを使って、草木染めをしました。オオハンゴウソウを煮出して染料を作って、木綿の布を浸して染めます。

少し緑がかった、黄色に染まりました。ヨモギの草木染に似ていました。



オオハンゴウソウ



草木染をしました！

次回、「水辺の楽校」は11月11日（日）ヤナギの挿し木などをします。